

普通救命講習終了証交付3万人達成!



記念品を授与される細川さん

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部では「3.7運動」という普及活動を展開中です。これは管内1世帯当たりの人数3.7人に1人の救急講習修了者をという運動で、救命活動の普及を図り普通救命講習を重ねてきたところ、ついに普通救命講習終了証の交付が管内3万人を達成し、4月6日、角館消防署において、3万人目に当たる細川昭夫さん(神代)が修了証とともに記念品を授与されました。

普通救命講習の受講資格は、市内居住者又は、市内在勤・在学(中学生以上)者で、講習(講習時間3時間)内容は実技がメインとなり、心臓マッサージやAED(自動体外式除細動器)の取扱い、窒息など、救急隊

が到着するまで時間的余裕がない緊急事態への対処法を学びます。昨年、仙北市を訪れていた観光客が突然倒れたものの、AEDを用いた適切な応急手当を受け、一命を取り留めた事例もありました。3万人目となった細川さんは「幸運にもめぐりあわせて光栄に思っている。講習で学んだ対処法を使う場が少ないに越したことはないが、緊急の事態には如何なく発揮出来るように思っている。また、地域を通して救命活動の普及呼びかけをしていきたい」と述べられました。

かくのだて桜苑に第一生命労働組合より車椅子が寄贈

3月31日、第一生命労働組合秋田営業職支部から、かくのだて桜苑に車椅子が寄贈され、第一生命労働組合秋田営業職支部 熊谷真智子 角館サテライト分会長から渡部桜苑施設長に目録が手渡されました。

第一生命労働組合ではDCR活動(コミュニティー・リレーション(地域社会との交流)に「第一」の頭文字のDを冠したもの。社会の一員として社会に役立つ活動を行うことを意義する活動)を行っており、その活動の一環として行われました。



仙北市老人クラブ連合会総会開催

4月8日、仙北市老人クラブ連合会総会が花葉館を会場に開催されました。

総会では、平成19年度決算の承認と平成20年度事業及び予算の審議が行われ、原案どおり可決されました。その後、藤原剛仙北市老人クラブ連合会会長から「高齢者の時代である現在、寝たきり老人を増やさない為にも、共に楽しくまた意義のある活動の出来る仲間を増やすようにクラブへの加入促進に努力してほしい」とあいさつがありました。



花葉館が入湯者140万人を突破!!

3月29日、オープンから12年目で、花葉館の入湯者が140万人を突破しました。140万人目のお客様となった武藤明美さん(秋田市在住)には、1泊2日のペア宿泊券などが贈られました。

思いも寄らぬ祝福に、ビックリの武藤さんでしたが、笑顔で祝福を受けられています。

140万人の前賞は大仙市の伊藤さん、後賞は岩手県奥州市の斎藤さんで、ペア宿泊券が贈られ、また、この日の入湯者には紅白まんじゅうが配られました。



左から武藤さん、高橋社長、石黒市長